

## 結 果 の 要 約

- 1 平成 17 年 10 月 1 日現在の山口県の人口は 1,492,606 人で、前回調査の 12 年に比べ 35,358 人、2.3%減少している。
- 2 人口を市町村別にみると、下関市が 290,693 人（県人口の 19.5%）で最も多く、次いで山口市が 191,677 人（同 12.8%）、宇部市が 178,955 人（同 12.0%）、となっており、最も少ないのは本郷村の 1,239 人（同 0.1%）となっている。
- 3 人口を男女別にみると、男性が 703,721 人、女性が 788,885 人で、女性が 85,164 人多く、人口性比（女性 100 人に対する男性の数）は、平成 12 年の 89.7 から 89.2 と低下している。
- 4 人口を年齢別にみると、15 歳未満人口は 196,729 人（県人口の 13.2%）、15～64 歳人口は 920,531 人（同 61.7%）、65 歳以上人口は 373,346 人（同 25.0%）となっている。これを平成 12 年と比べると、それぞれ、0.8 ポイント低下、2.1 ポイント低下、2.8 ポイント上昇している。
- 5 15 歳以上人口の配偶関係をみると、有配偶率は男性が 64.7%、女性が 56.4%、未婚率は男性が 27.2%、女性が 19.3%となっている。
- 6 県内に在住する外国人は 12,461 人で、平成 12 年に比べ 209 人、1.6%減少している。
- 7 山口県の一般世帯数は 588,736 世帯で、平成 12 年に比べ 6,299 世帯、1.1%増加している。また、一般世帯のうち 2 人世帯は 183,376 世帯（一般世帯の 31.1%）と最も多くなっている。  
一般世帯の 1 世帯当たり人員は平成 12 年の 2.56 人から 2.46 人と減少している。
- 8 世帯の家族類型をみると、核家族世帯は 351,754 世帯（一般世帯の 59.7%）で、このうち夫婦のみの世帯は 141,606 世帯（同 24.1%）、夫婦と子供から成る世帯は 158,821 世帯（同 27.0%）となっている。また、単独世帯は 166,468 世帯（同 28.3%）となっている。
- 9 65 歳以上親族のいる一般世帯は 246,763 世帯（一般世帯の 41.9%）で、このうち「一人暮らし高齢者」（65 歳以上の単独世帯）は 65,945 世帯（65 歳以上親族のいる一般世帯の 26.7%）、高齢夫婦世帯<sup>（注）</sup>は 74,774 世帯（同 30.3%）となっている。  
（注）夫が 65 歳以上、妻が 60 歳以上の夫婦 1 組の一般世帯
- 10 住居の状態をみると、住宅に住む一般世帯の持ち家率は 67.0%で、平成 12 年に比べ 0.9 ポイント上昇している。また、住宅に住む一般世帯の 1 世帯当たり延べ面積は、平成 12 年の 100.4 m<sup>2</sup>から 101.2 m<sup>2</sup>と広がっている。

図1 山口県の人口及び人口増減率の推移（大正9年～平成17年）

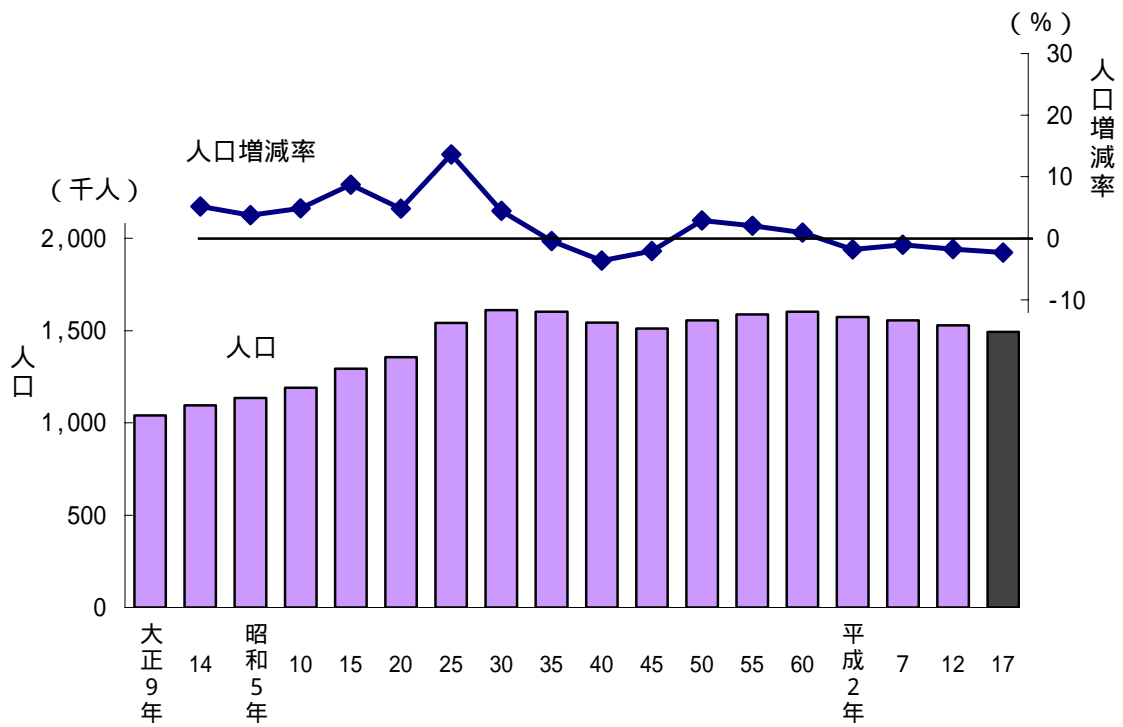


図2 山口県の年齢（各歳）、男女別人口（平成7年・17年）

